和教時報

2023年９月15日（金）発行　第2001号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

和教組ゆるキャラ みばん

賃金改善　休暇拡充　非正規教職員の労働条件改善　多忙解消
確定交渉で切実な要求の実現をめざそう！

一〇月下旬から確定交渉が始まります。物価高騰が続く中、賃金や休暇の改善、超勤縮減・多忙解消などの要求を県教委に訴え、実現を求めていきましょう！

和教組は「和高教（高校で働く教職員の組合）」や「教育庁職組（教育庁で働く職員の組合）」と一緒に「教育三者共闘会議」を結成して、毎年、県教委と交渉しています。

第一回交渉で教育長に要求書を提出し、二回・三回・四回（最終交渉）と交渉を積み上げ要求実現をめざします。昨年までの三年間はコロナのため、参加人数を絞らざるをえませんでしたが、今年は一五〇人の参加で県教委を包囲・追及していきたいと考えています。要求書は和教組のホームページからも確認できるようにします。

▲2022確定交渉より

今年の重点課題は、まずは、物価高騰の中での大幅な賃金改善です。特にベテラン層や臨時的任用教職員、会計年度任用職員の賃金改善は最重要課題です。多忙が深刻化する中で、超勤縮減・多忙解消も待ったなしの課題です。休暇関係では母性保護や子育て支援策の拡充、年休や特別休暇（有給）の拡充なども切実な要求です。

要求実現をめざして和教組では「会計年度任用職員の待遇改善」を求める署名に全県で取り組みます。未組合員の方にも協力を呼びかけ、一筆でも多く集め、県教委に提出して要求実現を迫ります。多忙な中で、交渉に参加することが困難な状況がありますが、一人でも多くの方が交渉に参加し、職場のリアルな実態や切実な要求を県教委に直接訴えることは要求を実現させるためにとても大切です。

後日、支部から交渉会場に掲示する「個人要求書」「職場要求書」を届けますので、要求や願いなどを記入し支部へ届けてください。交渉参加できない教職員の声も、県教委に対して「たくさんの教職員がこの交渉を注目している」という力強いアピールになりますので、忙しい中ですが、ぜひご協力をお願いします。みんなの力を合わせ、確定交渉で切実な要求を実現させましょう！

輝いてワンショット　たくさんの人が学びました
（学校の多忙解消をめざす学習交流集会）

ピンのスポット 413

今年は観測史上、最も暑い夏になったそうです。最高気温が更新されたところも多かったようですが、そんな中で痛ましい事故も起こりました。

北海道では体育の授業を終えた子どもが熱中症で亡くなりました。このことを受け、熱中症対策として臨時休校や授業短縮などの対策をとった学校が多かったそうです。

北海道だけではなくそのほかの地域でも熱中症対策に取り組むべきところがあるのではないでしょうか？七月いっぱい授業をしたり、八月のお盆明けから二学期が始まったりと、県内でも従来の夏休み期間を短縮している地域があります。本来、夏休みは暑さのために授業に支障があるとして設定されたものです。教室にクーラーが設置されていても登下校時のことを考えれば休業すべきです。

（Y）

初めてのこころみ
「会計年度任用職員交流会」

障害児学校部　副部長　芝崎　裕美

八月二五日、第一回会計年度任用職員交流会が和教組と西牟婁、東牟婁の教育会館をリモートで結んで開かれました。給食調理員二名、バス介助員九名、教員十一名（役員含む）の参加で、各校の勤務実態や困りごとなどが交流されました。

バス介助員さんからはバスに乗らない時間帯（執務）の内容についての意見が交わされ、校内の清掃活動や屋外の除草作業等、勤務校によって異なることがわかりました。

給食調理員さんからは、子どもたちのことを考え、時間に間に合うように給食を提供しているが、調理員が欠員状態の学校もあり、大変だと言う意見が出ました。また、休憩室も狭く、一日中立ち仕事なのに、足を伸ばしての休憩すらできない、という意見が出ました。

休憩室の問題はバス介助員さんも同様で、狭い部屋だったり、校務員さんと同室だったり、学校によっては、固定した休憩室がなく、授業で使用する際などには移動しなくてはいけない学校もあるということでした。

バス介助員さんも、給食調理員さんも人員不足には悩まされていて、欠員状態が長期間続く場合もあります。参加者からは「給料などの待遇がよければ誘いやすいのに」と言う声も聞かれ、待遇改善の必要性を強く感じました。

みんなで
和歌山をすみよい街にしよう!

和歌山市支部　書記長　田畑　雄介

和歌山市では、四月六日に地方創生臨時交付金を使って、二三年度の学校給食無償化が決まりました。しかし、二四年度は未定、市立小学校のみということで、来年度の制度の継続と拡充を求めて「和歌山市の学校給食無償化を求める会」を立ち上げ、運動をスタートさせました。

三〇〇以上の子どもに関わる団体・個人に協力の依頼に回りました。これに対する反応もよく、途中で入会してくれた団体もありました。街頭宣伝でも、たくさんの方からあたたかい応援の声をいただき、要求の大きさを感じました。

署名活動を通して、市民の生活は困窮しているこ

と、今こそ、社会で支え合う必要があること、そして、和歌山市をよくしようと頑張ってくれる方がたくさんいることを感じました。

賛同してくれた九二六八筆の署名を九月一日に市に提出しました。継続については「検討」でしたが、市立校以外への拡充については、「設置者が違うので考えていない」という冷たい回答でした。さらに、賛同者を増やし、私たちの声で、よりよい和歌山市をつくっていきたいと思います。

市が実施することで、県にも大きな後押しになると思います。ぜひ、全国初、県下での給食無償化実施を私たちの声で実現しましょう!

みんなで21世紀の未来をひらく 教育のつどいin東京

和教組　教文部長　山崎　浩廉

八月一八日（金）～二〇日（日）まで東京で開催され、和歌山からは司会者・レポーター・一般参加者など一〇名が現地参加し、一八日の全体会では各支部でのサテライト会場にて多くの方がオンライン視聴で参加しました。

一八日の全体会では「子どもを大切にする教育実践と国のあり方を探求する～子どもへの無関心の政治に抗して、私ができること～」と題して　立教大学名誉教授　浅井春夫氏の講演と夜には五つのテーマでの教育フォーラムが行われました。

一九日の夜には東京での参加者が集まり交流会を開催し、それぞれが参加した分科会での話や普段の学校での話をして、学びを深めました。

分科会も含めてこの三日間は教育を取り巻く情勢、平和・子どもの権利という視点を常に意識した議論が行われて、本当に有意義な教育研究活動でした。

レポーターで参加した方の感想を紹介します。

障害児教育分科会

和歌山市支部
紀北支援分会
才藤　大和

全国教研では、レポート製作から協議、印刷、発表に至るまで多くの先生方にお世話になりました。本当にありがとうございました。発表はもちろん、様々な先生と料理を囲みながらの夜の交流会も楽しく、見識が深まりました。

分科会で各地域の厳しい現状を聞きつつ、発表者五人に共通していた思いは、子どもの思いを十分汲み取ること、主体性を育てていくことでした。また、そのために教師集団の日々の意思疎通や方針の共有、国や地方公共団体の現場への環境整備が必要であると話し合いました。

これからも周りの先生と子どもの思いに寄り添っていきたいと強く思うようになりましたし、合わせて社会や制度面に働きかける大切さも感じました。また発表会に行き、いろんな方々と楽しみながら交流したいです。

体育・健康・食教育分科会

東牟婁支部
神倉小分会
大西　勇也

分科会でのレポート発表、栄養教諭だけの場で話すと思っていたので、体育・健康・食教育全体会での発表と知り、緊張が増しました。発表では、必死すぎて何を話したか覚えていませんが、埼玉や東京など多くの栄養教諭に助けてもらいました。

翌日早めに会場に着き、他の栄養教諭と振り返りをし、授業の提案や出てきた意見でさらに交流しました。和歌山の栄養職員部でも定期的に意見交換をしていますが、全国の人と話せる機会は少ないので、とても貴重な経験になりました。

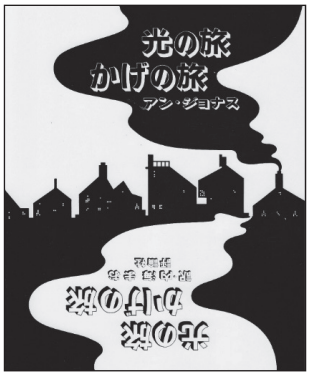
ぜひ あなたにも 読んでいただきたい この一冊

訳　内海まお

13 「光の旅 かげの旅」

（作　アン・ジョナス）

海草支部　巽小分会　**目崎　涼斗**



最近旅をしましたか？　多忙に多忙を重ねる日々が続き、「どこかへ旅行を…」とはなかなかいきにくいですね。かと言って「気分転換に小説を！」と思っても、一冊読み終わるのに何週間何カ月とかかってしまう。しかも途中で話を忘れてしまって〝三歩進んで二歩下がる〟なんてこともあるあるだと思います。

そんな困ったにぴったりなのが絵本です。一冊読み終わるのに一五分もかかりません。最近は子ども向け絵本でも大人も一緒に楽しめる仕掛けがあるものや、そもそも大人向けの絵本なんてものもあります。読み終わった後はインテリアとして飾ることで、普段の部屋をいつもと少し違った空間にもできます。

今回私が紹介させていただく絵本は、妹から誕生日プレゼントとしてもらいました。まず表紙がおしゃれです。中身を見ると、すべてのページがモノクロで描かれており、シックな感じになっています。前半は、明け方に車に乗って家を出発し、農場を通り抜け、海岸線を走り、列車を横目に車を走らせ、街へと旅をする〝光の旅〟。後半は、日が沈み、街に明かりが灯りだします。映画館やレストラン、花畑、打ち上げ花火…と今まで通ってきた景色とは違う新しい景色を眺めながら家へ帰る〝かげの旅〟。

いつもと同じ場所でも時間が変われば違う景色が見える。そんなちょっとした発見があるかもしれないですね。あなたも絵本の世界で旅をしてみませんか。

全教共済
秋募集はじまったよ！
募集期間 11月30日まで
おうちの共済　医療共済
生命共済　傷害共済
生命・医療共済、おうちの共済に新規加入で
ハーゲンダッツギフト券プレゼント！
和教共済　TEL：073-436-7860

おすすめ！
和教共済
073-436-7860
全教 自動車保険
12月まで
プレゼントキャンペーン実施中！
ご成約で
今治ハンドタオル
お見積りだけでも
ハンドクリーム＆
Shupattoプレゼント！

未来をひらく教育のつどいIN日高
2023和歌山県教育研究集会

全体会

12月1日(金)
受付17:30～　18:00～文化行事・開会
御坊市民文化会館
文化行事　日高高校・箏曲部
記念講演　「へいわってすてきだね」
絵本作家　長谷川義史氏

分科会

12月2日（土）
受付9：00～　開始9：30～16：00
和歌山県立紀央館高等学校

両日　入場無料　どなたでも参加可能
保育あり予約必要
両会場とも駐車場に限りがございますので、できる限り乗り合わせもしくは公共交通のご利用をお願いいたします。

主催　2023未来をひらく教育のつどい実行委員会
事務局 073-423-2261